

1864年禁門の変 久坂玄瑞(くさかげんずい)

1840年長州の医者の子として生まれ、15歳で家督をつぎ医者となる。

1868年に明治と改元し、明治維新が始まった。明治以前の世の中は家柄で人のすべてが決まってしまうのに対し、幕末になると能力が求められるようになった。

*18歳で吉田松陰の松下村塾に入門。

*世の中は外国列強の植民地になってしまうことを恐れて、外国人を切るべしという主張が強くなる。しかし、松陰はこれを否定した。

*1858安政の大獄により吉田松陰が処刑され、玄瑞は松陰の遺志を継ぐかのように長州藩の尊王攘夷の運動の先頭に立ち活動する。

*安政の大獄 … 朝廷の許可を得ずに井伊直助は日米修好通商条約を結んでしまう。これに反対する尊王攘夷派を弾圧した。その結果、井伊直助は尊王攘夷派などの反発を招き、桜田門外で暗殺された。

*吉田松陰は「草莽くつき(そうもうくつき)」、埋もれた人々が時代を創ると言った。

*1860久坂は江戸へ遊学、攘夷の仲間と連携する。吉田松陰を運動のシンボルとして利用。久坂の考えは、大義の前には藩は滅んでも良いと考えた。

*朝廷を動かして幕府へ建白書を送ることを考える

*長州藩は攘夷を決行し下関で外国船を砲撃する、しかし、あえなく敗戦。

*このころは、朝廷・幕府・雄藩(長州・薩摩)が政局を動かしていた。久坂は門下生の松浦省三に吉田松陰像を描かせた。

*長州がと出していたので、考明天皇は長州藩を快く思っていない会津・薩摩と手を組み 8月18日の政変で長州藩を追い落とす。会津や薩摩はこのままでは外国と戦争になってしまうと朝廷に訴えていた。

*久坂は帝へ直訴を考える。天皇家とつながりのある毛利定弘 7,000~8,000の援軍が京に向かっているさなかの、石清水八幡宮における協議は久坂の慎重策と来島の強硬策がぶつかった。結果、強硬策が決まり、援軍を待たずに京都御所への進軍が決まる。

*蛤御門を攻める長州勢は、会津藩が守る御所に迫る勢いだったが、西郷隆盛の率いる薩摩藩の援軍が到着したのを機に一举に崩れ去った。

*兵力差は圧倒的だった、街の1/3が焼け出された戦は「蛤御門の変」「禁門の変」と呼ばれる。

*久坂は鷹司家に入り、天皇へのとりなしを頼むが断られる。その屋敷も大砲の攻撃を受け

炎上し、これまでと自刃する。

*長州に残った高杉新作は、久坂の死が信じられずにいた。

***この事件を機に新しい体制づくりが進む**

禁門の変により、夢見る志士がいなくなる

↓

長州藩の損亡の危機

↓

幕府は長州を征伐に動く

↓

高杉は騎兵隊を組織する

↓

古い幕藩体制ではだめだ

初めて国家を持つことになった